

# 福あ

東庄町長

岩田

利雄



## ポストコロナ時代の

## わが町の展望

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、各方面から町政運営に對しまして多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、本町にとりまして、第6次総合計画の第2期実施計画の中間の年であるとともに、町制施行65周年という記念すべき年でもありました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、町制施行65周年記念行事をはじめとする各種行事を延期や中止せざるを得ない状況となつてしまい、町民の皆さまにおかれましては、外出もままならぬ我慢の日々が続いてしまいました。

このような状況下でありましたが、次世代へつなぐづくり、地域づくりのため、小学校の統合、新しい給食センターの稼働といった教育環境の整備や、地域コミュニティの核となるような小学校跡地の利活用等の施策を進めてまいりました。防災対策としては、新型コロナウイルス

イルス対策を踏まえた災害時の避難のあり方や避難所の運営方法などについて対策を進めてまいりました。

また、町民の皆さまの元氣と笑顔を取り戻すため「とうのしょう花火」、「家からウォークラリー」など、新たなイベントも開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見通せない中ではありますが、何もしないのではなく、何事にもチャレンジし、可能にしていこうとも大事なことであります。

基本的には「うつらない、うつさないこと」、万全な体制を尽くし目指すものに向かつてまいります。

コロナ禍以降に様変わりしたポストコロナの時代、再度わが町を見つめ直しながら、総合計画のメインフレーズ「躍動・連携・地域力」をテーマに、町民の皆さまとともに、新たな生活様式に即した、きめ細やかな施策を展開してまいります。

結びに、町民の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。いさつとさせていただきます。

# 新年



## 新しい環境の中で 子どもたちが健やかに育つように

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろより町議会に対し、ご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、町制施行65周年という節目の年でもありましたが、新型コロナウイルス感染症が発生し、さまざまな行事や会合などを開催することができませんでした。自分や周りの人の命を守るためではありますが、今まで当たり前にしてきたことが制限され、戸惑うことが多々ありました。経済的にも大きな影響を受けた方、お店や事業所などに対し、国や町も支援策を講じましたが、まだまだ大変な状況であります。

そんな中ではありましたが、待望の「東庄小学校」が開校しました。児童の学校登校が実現したのは少しあとになってしまいましたが、子どもたちの元気な姿を見られたときには、本当にうれしく、安堵あんどいたしました。9月には中学校の敷地内に給食センターが完成し、これまでの

「弁当箱方式」から「食缶方式」に変更となりました。

また、町内の小中学校は、これらの時代に必要なICT教育のための整備も進んでおります。新しい環境の中で、子どもたちが健やかに成長することを願い、町議会としても将来を担う子どもたちを全力で応援できるように町に提言してまいります。

まだコロナ禍は続いている状況ですが、周りの方々と励ましあい、この難局をみんなで乗り越えてまいりたいと思います。

これからも若い皆さまが安心して子育てできる環境整備、さらには高齢になっても自分らしく元気に過ごせるまちづくりができるよう、町民のみなさまとのパイプ役を果たしながら、議会運営に取り組んで参ります。

結びに、町民の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

東庄町議会議長

山崎ひろみ

